

果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします



## 寒い冬とラニーニャ現象



- 昨秋に発表された季節予報では**今冬季の寒さは厳しい**との内容でしたが、今のところピッタリと当たっています。これは、**ラニーニャ現象**の影響が大きいと解説されています。
- ラニーニャ現象は南米大陸西岸の**ペルー沖の海水温が通常に比べて下がる現象**で、冷夏年におけるエルニーニョ現象の反対の現象です。
- 地球の反対側の海水温が下がると、付近の貿易風という風が強くなり、方々の地域に影響を及ぼします。東アジアにおいては偏西風の蛇行を引き起こして、**最終的に日本付近に寒気が流れ込み**、冬は寒くなるわけです。



## 剪定枝を堆肥化して有効利用



- 大気中の二酸化炭素削減や有機物施用促進のために、果樹の**剪定枝を堆肥化**して活用する方法を紹介します。
- まず、ブドウやモモの枝をチップーなどを使って**長さ1～2cmに細断**します。
- 次に、**各種肥料資材を加え**、窒素等の不足成分を補てんします。**鶏ふん**は安価なうえに分解を促進する作用が高く、堆肥の品質が向上するので使いやすい添加資材です(表)。
- 添加量は畑10aの剪定量に対して**鶏ふん2袋**が適量です。
- 最後に山積みにしてから下から少量の水が滲み出る程度に**水分を加え**、保温のためにシートなどで覆います。
- その後は、2～3ヶ月ごとに**切り返し**を行ない、内部に空気を入れるとともに**水分補給**をすれば腐熟が進み、**6～8ヶ月程度**で良好な堆肥が出来上がります。

表 モモせん定枝の堆肥化に及ぼす添加資材の影響

添加資材	C/N率	コマツナ試験	
		分解率(%)	N吸収量(mg)
鶏ふん	11.2	85	28
油かす	13.5	60	26
ヌカ	15.2	68	15
石灰窒素	16.0	54	13
尿素	20.7	50	15
無添加	30.7	36	7